

2026信州大学 二次解答分析速報

教科:

学部: 学科(課程・専攻):

入試区分

試験時間: 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

I、IIの大問構成に変化無し。IIの英文の記述問題のみの出題にも変化無し。昨年80語前後の内容説明2題と100語前後の意見論述2題の構成だったが、短文の空所補充と100語前後の要約文、100語前後の意見論述に変更。記述量はやや減。

その他トピックス:

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
I	読解	状況に応じた異文化コミュニケーション	・適語補充(4択型) ・適語記述 ・組み合わせによる適語補充(4択型)×2問 ・内容一致	普	・文化の違いに見られる3通りのコミュニケーションスタイルがテーマ。対比や具体例などの論理展開が特徴。 ・空所補充にはディスコースマーカーの選択問題が2問
II	読解+英文記述	学生は怠惰であるという説の誤り	・適文記述(短文) ・内容説明(自分の言葉での要約)(100-120w) ・意見論述(80-100w)	やや難	・「学生は怠けるものだ」という先入観は教師の言葉を制限し有限でもある」と考える教育者のエッセイ。 ・抽象的な記述を自分の言葉で説明する問1(2)はやや難、具体的な表現を補う必要があるかもしれない。 ・「教師の言動を制限する有害な思い込み」の別例を記述する。

〈学習対策〉

・日頃から長文はディスコースマーカーや接続詞に注目しながら、論理展開を意識した読み方を心がけよう。
・教育現場のトピックが例年扱われる。日頃からこの分野の課題や研究に注意を向け、自分の意見を持つようにしたい。自由英作文では、観察力、発想力、思考力が問われる出題が定番になっている。自分の幼・小・中・高の経験に照らし合わせ、教育現場への関心や知識を広げるようにしたい。

2026信州大学 二次解答分析速報

教科:

学部: 学科(課程・専攻):

入試区分

試験時間: 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

基本的な問題が多い

その他トピックス:

複素数平面が出題された

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	II	微分法	三次関数のグラフを書いて考える。	普	三次関数のグラフを書いて最大値を場合分けして求める。
2	I	集合と命題	無理数であることの証明	やや易	$\sqrt{3}$ が無理数あることを背理法を用いて証明する。

〈学習対策〉

教科書や問題集の例題、練習問題を解いて基本事項を確認する。

2026信州大学 二次解答分析速報

教科: 数学

学部: 教育 (I II III
ABC)

学科 (課程・専攻): 現代、社会、数学、理科、ものづくり・技術、家庭、特別支援、心理支援

入試区分 前期

試験時間: 120 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

基本的な問題が多い

その他トピックス:

複素数平面が出題された

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	II	微分法	三次関数のグラフを書いて考える。	普	三次関数のグラフを書いて最大値を場合分けして求める。
2	I	集合と命題	無理数であることの証明	やや易	$\sqrt{3}$ が無理数あることを背理法を用いて証明する。
3	III C	複素数平面	複素数を用いて図形を考える	やや難	極形式を用いて角度を求める。三角形の外接円の中心を図形を用いて考える。
4	III	微分法 積分法	微分の結果を用いて定積分の値を求める。	普	・無理関数と対数関数の微分 ・区分求積法の値を(1)の結果を用いて定積分で求める。

〈学習対策〉

教科書や問題集の例題、練習問題を解いて基本事項を確認する。

2026信州大学 二次解答分析速報

教科:

学部: 学科(課程・専攻):

入試区分

試験時間: 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

その他トピックス: 大問1.2017年お茶の水女子大学①の問題文と同様。問3は同じ、問6は8割。
→信大は本文を中略箇所あり

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	評論	「不在の哲学」 中島義道	問1内容説明 問2内容説明 問3空欄補充 問4内容説明 問5内容説明(記号) 問6内容説明	問1～5 普 問6 やや難	問4: 比較を意識した表現 問6: 「あなたの生活の中で活用できること」という設問の解釈についてここを意識すること。本文の内容からそれてしまう。
2	小説	「毛利先生」 芥川龍之介	問1修辞表現 問2内容説明 問3内容説明 問4内容説明 問5内容説明 問6内容説明	問1易 問2,4,5,6 普 問3 やや難	問2: 本文のどの範囲まで表現するかを考える 問3: 傍線部「金切り声」の意味も表現すること 単に「日本語能力」のみの記述ではない 先生の描写を一般表現にとどめない 問5: 前後の説明と表現効果の説明まで求められる 問6: 問5に解答が重複しない
3	古文	「徒然草」 第59段	問1選択問題(文脈表現上の合意) 問2選択問題 (一)筆者主張 (二)内容説明 問3 (一)文法的意味 (二)(一)の効果説明 問4 (一)文法(活用) (二)選択(選択した解釈を説明)	問3(一) 問4(一) 易 その他は普	問4(二)どちらを選択しても段全体の筆者の主張に結びつくように記述する。

2026信州大学 二次解答分析速報

教科:

学部: 学科(課程・専攻):

入試区分

試験時間: 分

〈学習対策〉

- ・小説に読み慣れること
- ・順序だてて説明することを練習する
- ・「徒然草」の出題は予告もされていたので、募集要項で確認し、対策を立てておく。作品全体を貫く作者の主張を押さえておく。
- ・漢文は今後復活する可能性もあり、古文の中に漢文の引用が登場する可能性もあるので準備しておく。

2026信州大学 二次解答分析速報

教科: 物理・物理基礎

学部: 教育・理・工・織
維・農

学科(課程・専攻): 教育(理、も)・理(物理)・工(全)・織維(全)・農(全)

入試区分 前期

試験時間: 90 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

出題分野・出題形式共に前年度と同様であった。
解答は基本的に答えのみで記述はない。描図問題が力学で出された。

その他トピックス:

熱力学④で必要な物理量を自分で設定する必要がある。
計算が煩雑な問題が出題されていることも例年通りである。

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	力学	力と仕事、運動方程式、剛体の静止条件	バネの付いた直方体の運動に関する典型問題	普	剛体の滑り、回転を扱う典型問題である。スピーディーに解きたい。
2	波動	ホイヘンスの原理と反射・屈折の法則、薄膜干渉	反射の法則と屈折の法則を素元波の理論を用いて証明する。	やや易	入試頻出問題、図が少々複雑なので、問題の流れにうまく乗ることができるかがポイント
3	電磁気	コンデンサーの基本とダイオードの入った回路	誘電体が入ったコンデンサーの電場や電気容量を考えさせる。	やや難	誘電体の比誘電率を用いずに論じる問題なのでむずかしく感じた受験生もいたと思われる。
4	熱力学	熱力学の第1法則熱サイクル	バネで連結されたピストンにより封入された気体の状態変化に関する問題	難	問題本文中に、大気圧やバネの自然長に関する記述がないので、自分で設定する必要がある。最初の問題がうまく通過できないと後が苦しくなる。問題の分量も多く、計算も煩雑でけっこう重い問題である。

〈学習対策〉

毎年、各分野からまんべんなく出題される。(熱力学の代わりに原子分野が出題されることもある。)問題のレベルは標準的であるが、一部難易度の高い問題が出題される。まず標準的な問題集を用いて基本事項をしっかりマスターしよう。その後、長文問題に慣れること、煩雑な計算もしっかりとこなせる計算力をつけよう。グラフなど描図問題への対策もしておこう。

2026信州大学 二次解答分析速報

教科: 化学・化学基礎

学部: 教育・理・工・繊維・農

学科(課程・専攻): 教育(理、も)・理(化学)・工(物質化学)・繊維(全)・農(全)

入試区分 前期

試験時間: 90 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

電気分解の問題が出題された。やや論述問題が多かった。

その他トピックス:

油脂・高分子の計算が出題された。

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	理論・無機	金属結合 Al ₂ O ₃ の反応式 結晶格子	用語、計算 論述、反応式	易	Al ₂ O ₃ の化学反応式、結晶格子の計算等標準的な内容
2	理論	アルミナの溶解塩電解 陽イオン交換膜	用語、計算、論述	普	内容は典型的な電気分解の問題であった。やや字数の多い論述式の問題が出題された。
3	有機	油脂、せっけん エステル構造決定	用語、構造式、計算、論述	普	油脂の標準的な内容の問題。エステルの構造決定も基本的な内容であった。
4	有機	高分子	用語、正誤、計算	普	ポリ乳酸とS、B、Rの計算問題が出題された。

〈学習対策〉

標準レベルの問題集をしっかりと理解すること。論述式の問題が多いので普段から論述問題を解いた後ノートにまとめておくなど工夫をするとよい。

2026信州大学 二次解答分析速報

教科: 生物・生物基礎

学部: 教育・理・繊維・農

学科(課程・専攻): 教育(理、も)・理(生物)・繊維(先、機、応)・農(全)

入試区分 前期

試験時間: 90 分

〈全体分析〉

解答形式:

記述式

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

例年通り、生物・生物基礎の全範囲から幅広く出題されている。出題形式も化学反応式や計算過程など多様。教科書に記載のある基本的な問題が多いが、「コラム」や脚注などの細かな内容の出題もある。知識問題が多く、実験考察型の出題は少ない。

その他トピックス:

論述式の問題は9問 60、120、60、200、120、100、60、40、140の計900字で昨年度から倍増した。(昨年度は5問200字×2、30字×3 計490字)。他に計算過程が2問、化学反応式が1問。論述量が増加したためやや難化としたが、一昨年度以前の状況に戻った状態。

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	遺伝子・進化	突然変異・かま状赤血球症	知識問題 論述問題60・120字	やや難	突然変異に関する穴埋めと論述。かま状赤血球症の発症頻度がアフリカで高い理由の論述。遺伝病の遺伝子頻度、発症頻度に関する計算。
2	細胞と分子	生体物質・タンパク質	知識問題 論述問題60・200字	標準	特定の元素の生体内での役割。特定の物質の細胞膜における輸送方法。リン脂質の構造。酵素のはたらきに関する論述
3	代謝	光合成	知識問題・化学反応式・計算問題 論述問題120字	標準	光合成に関する知識問題と反応式。陽生植物と陰性植物光-光合成曲線。光合成速度と光合成産物に関する計算。光補償点と植物の生育に関する論述。
4	生態	個体群・生物群集	知識問題・計算問題・論述問題 100・60・40・140字	やや難	密度効果、生態的地位に関する穴埋め。標識再捕法による個体群密度の計算。バツタの群生相・適応度・標識再捕法・フィンチのくちばしの形質置換に関する論述。

〈学習対策〉

標準的でオーソドックスな問題がほとんど。やるべきことをしっかりやれば高得点が期待できる問題構成。過去に出題のあった内容が繰り返し出題される傾向がある。対策は教科書の内容と過去問を徹底的に学習すること。教科書は「参考」「コラム」などの細かな内容も丁寧に理解しておく必要がある。論述量が多いので、50～100字程度の論述答案を書く訓練を、早い時期から練習しておきたい。論述内容は知識型が多い。実験問題は多くはないが、出題されないわけではないことは留意しておきたい。